

東人種

初編

375



C. 557

Two volumes. "Baran-tebiki-notane" by Ten-sel-sai.

天竺三十八卷

天竺三十八卷

天竺







必以捨ず唯中庸庸れと云ふより天地  
自然に花をとりつゝ三才の位に  
立陰陽のかゝりつゝ虚實の理を  
弁く和合成調へて是を拈花は法に  
其三才は位に依ふといは先き校を  
位へて是と作し修き校を地は  
位へて是と留る其作留は留り  
入る校と人の位へて是を用ゐる  
別

天地陰陽和合して万物生れ其中に  
人あり地に通徹するよりして人地乃  
三才と唱ふなり天地畢きて形理の始と  
するありしを虚實陰陽の和合成  
りしを竹本と作用留は三才と紐する  
是別伐る花は花のありしを  
と云ふなり所謂三生自然に花を  
かゝるが人も先拈花は實客答客の



言初〜高位も人言いのち後人  
平人より実と語得るるときは正に  
そ親れ花と〜の甄別なりをハ別  
れ我なり客是人〜きに感〜を合  
〜親れ花に目減り多〜め心を  
開〜むふ〜なり〜越前河内  
花〜てハ和合せざる友池〜に河  
越前ハ初〜る相友陰なり花ハ時〜

刻〜に發生をふかすを湯なりを  
越前と花と河内を陰陽和なりと  
越前ハ主なり花ハ臣也是主臣和合  
なり花ハ珠花と〜池を珠花と  
〜ハ正花ハ卑咲と〜珠花と〜なり  
〜正花と〜ハ日月を光〜と〜け  
〜を〜暖け時とた〜ハ四時〜に  
咲ける花と〜也〜ハ常盤州と云て



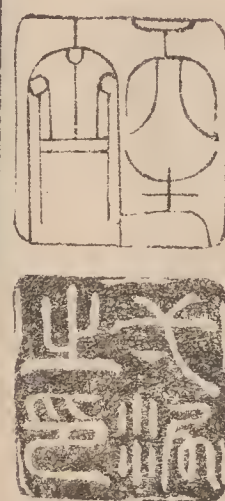
四季は名別なく挿しこみ四季は  
正花はふゆふゆ正花はふゆふゆ  
と旬は四月と旬は五月と旬は六月と旬は七月と  
花を意合と人との旬と稱しこみ人に余  
越初に意合なくを時候は花を意合  
入る其意合と人との旬は山程水程  
出生とくは——竹本は俗の名別を

是く入る意合はなきとくはな  
世はさし意合——四季は名別なく  
春と秋と集りて人を歌しこみ四季  
又し時候は花と人との旬は  
挿しこみの中に意合は花と人との  
二と意合は花と人との旬は  
乃規矩初心は花と人との旬は  
秘免るをあらはにちとくは



諸君は進免教へびに  
 多畫は法も矢にお終、なれど唯花形  
 のこつとに寫、あ葉蘭の川様初編と歌  
 一人や、いと、か、り、る、な、が、さ  
 代ふ、う、う、待り、如  
 あ、永、あ、せ、の、秋

天生齋二流誌



長州行三瓶合々  
 屯も十七本の二方也

行三

長九

叶  
 天  
 生  
 齋

家元  
 天生齋





梅

冬人三寸

体



留



泉光齋

一貴



冬人九寸  
梅玉軒二梅

体



留

自用



貴正齋

一要



もろ人十三まんに  
福寿州 三平人

体

作保流

留

用



松月齊  
一枝

もろ人 十名まんに  
水仙 二り

体

作保流

留

天

地

人



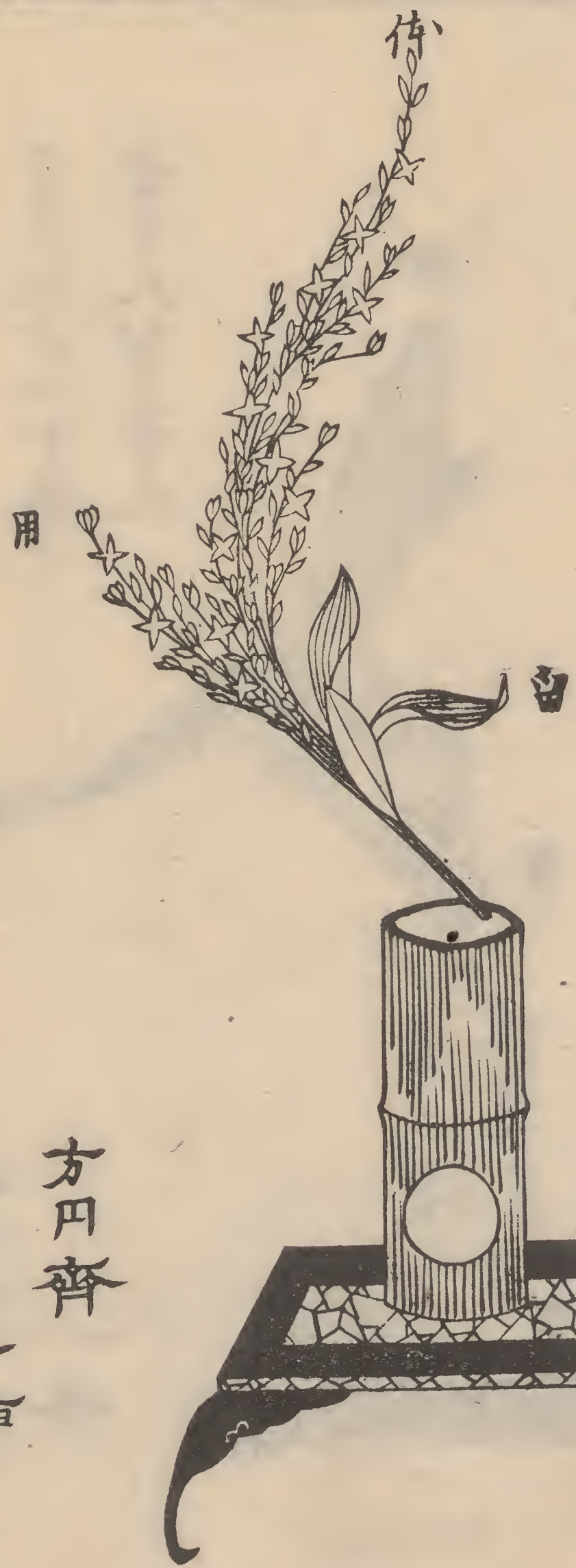
用

耕月齊

一樂



連翹  
人



方円齊

一挿

柳  
梅  
人



光月齊

一甫



冬人十一  
金世  
世之



正雲齊  
一景

冬人十三  
月かほ



光月齊  
一詳



接骨木  
みじん

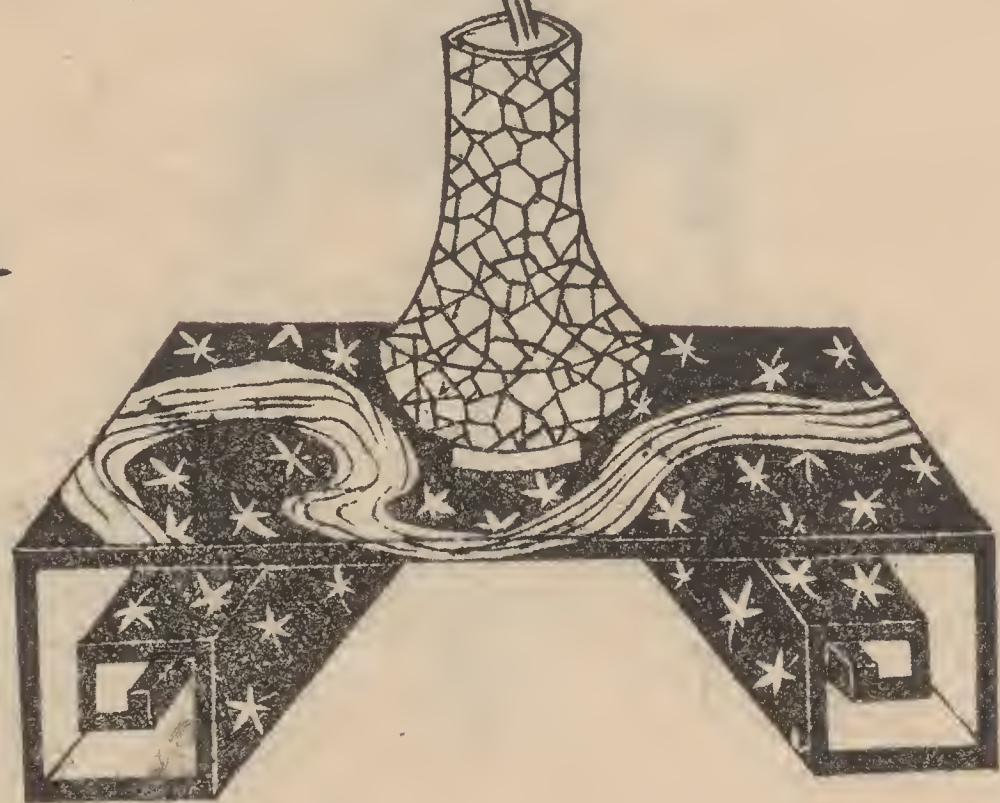
作

用

留

春壽齋

一賀



みじん  
金せん  
天

天

地

用

春月齋

一風女





きくみじん  
 んみじん  
 かきじん

作

用

留

光玉齊

一葉



きくみじん  
 んみじん

作

用

音



千鶴齊

一蝶

45



ほろ  
とんまふ



黄榮齊

一松

とんまふ  
きくまふ



黄榮齊

一華



ふじん二寸  
小きく



十種齊  
一榮

ふじん十一寸  
ふれ大きく七寸  
薄紅中きく七寸  
赤れ小きく  
黄なりとみん

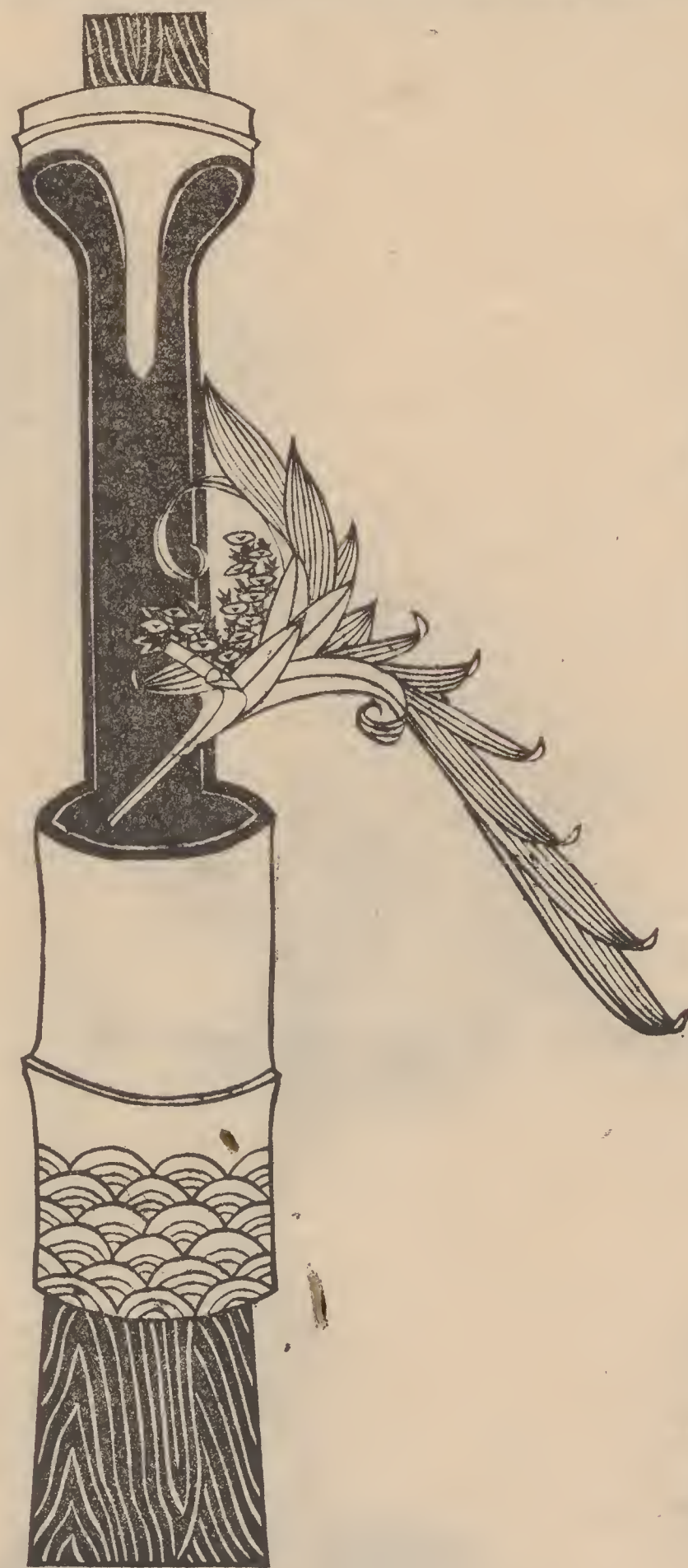
俵



泉  
一貴



松人十七  
 小き此河



松月  
 齊

一  
 枝

松人五  
 小き此河

作

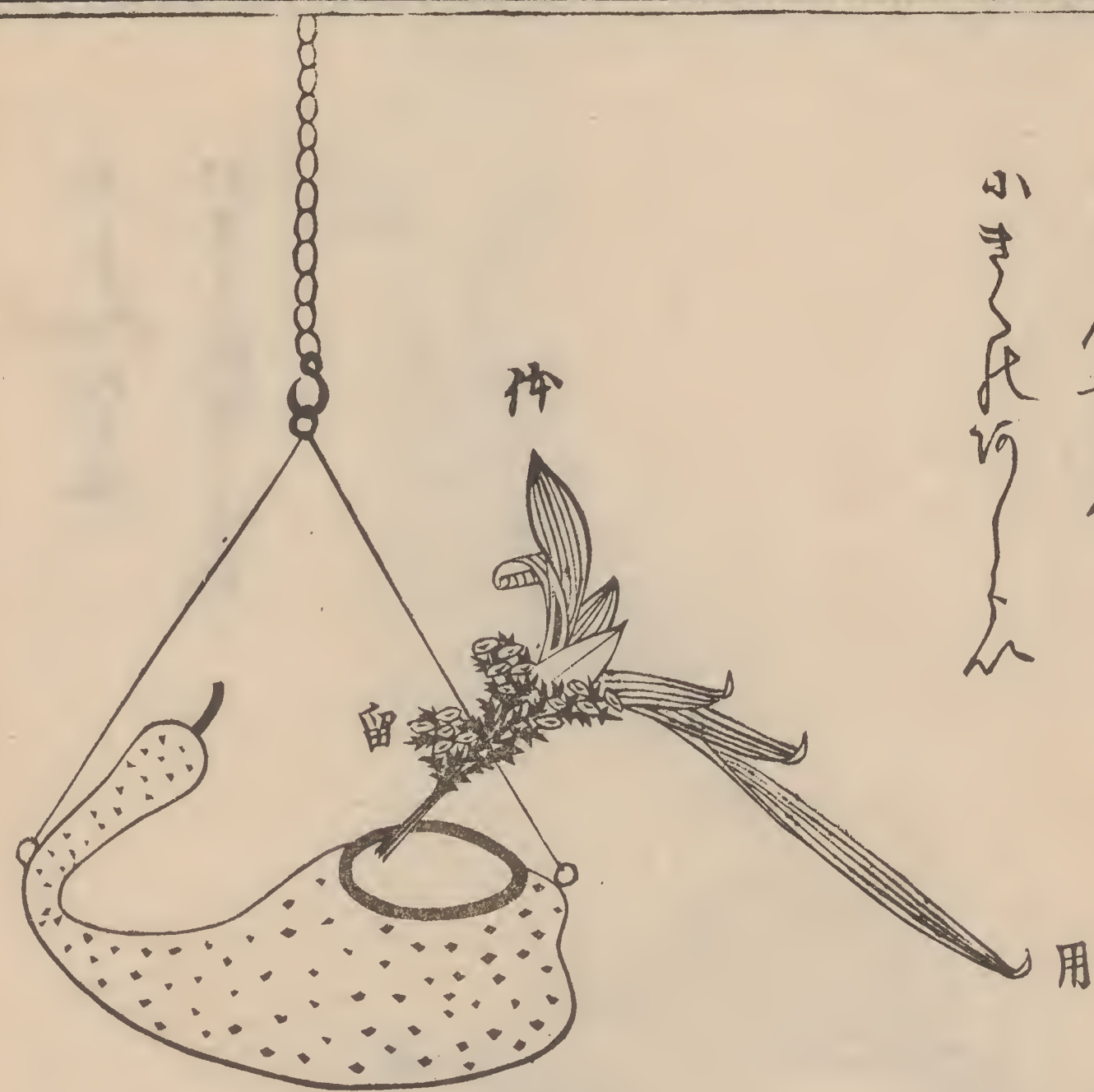


松月  
 齊

一  
 詳



ふらん七まん  
小きれりらん



仲

用

新月齊

一樂

ふらん七まん  
大き〜七まん  
小き〜美



仲

留

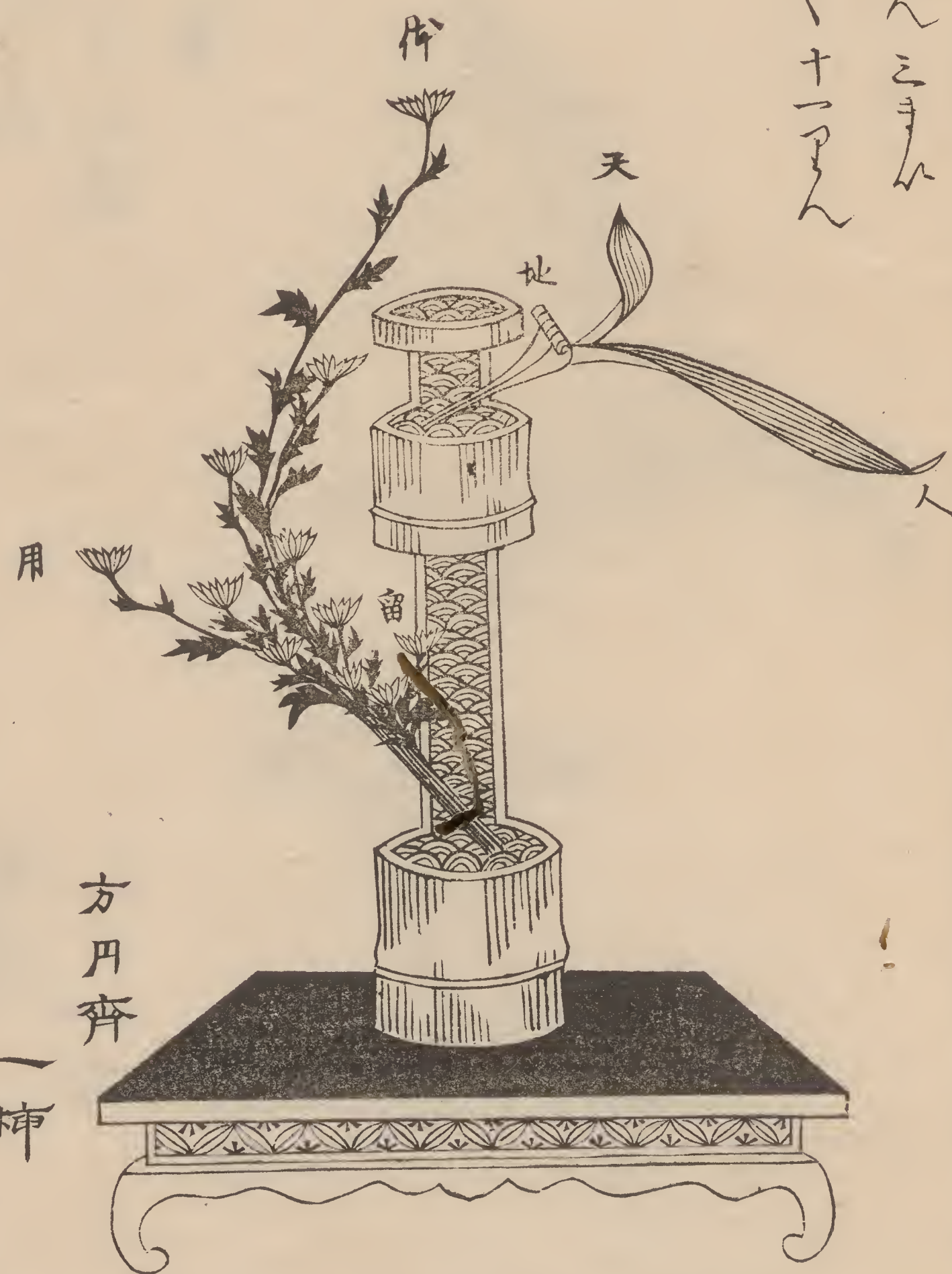
用

光月齊

一甫



人三三  
 中きく十一人



方月齊  
 一柿

人十一人  
 きく 人



天生齋一紙



冬人九寸  
中きくみん

作

留

用

天正庵

一子



女良花  
冬人九寸

光玉齋

一葉





なみこ  
小きくはり



太榮齊  
一幸

紅葉  
なみこ



方月齊  
一柳



梅のやき

らん七まん

きんき

作



寶正齋

一要

いほきろまん  
らん  
みまん

作



泉光齋

一貴



作



用

苗

梅月齊

一枝

梅月齊

五月十七日  
小まけり

苗

作



耕月齊

一樂

梅月齊



水仙  
しんすいせん

作

用

留



光円齋

一詳

梅  
ぼくろく

作

留



光月齋

一甫



梅  
人  
之  
心

作  
し  
と

用

留



正  
雲  
齊

一  
景

人  
心  
之  
作  
し  
と

作

用

留



十  
竹  
齊

一  
司



ふとん 十とすん  
小きく 此河

作

用

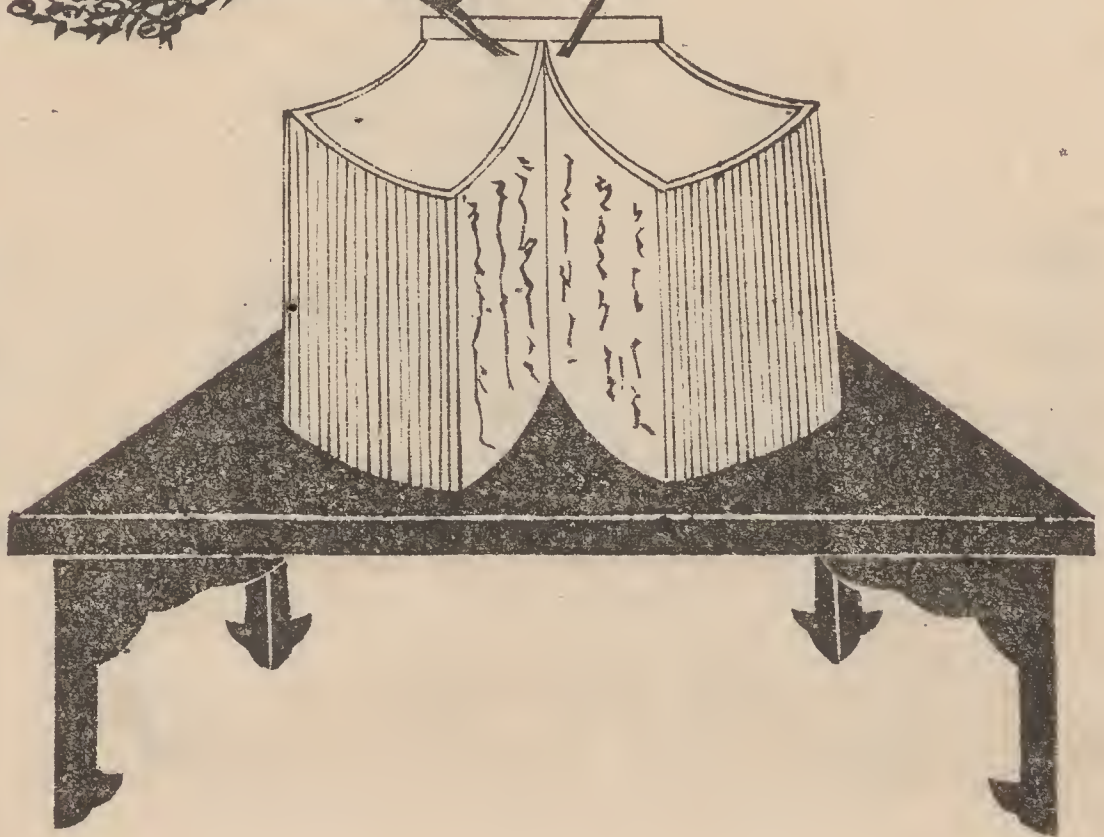
天 留

地

人

方月齊

一揮



たれ柳  
ふとん 十とすん

作

留

春好齊

一蒼





とれ  
ほろりどき  
じんあま

作  
下  
じんあま



じんあま  
きく  
四十じん

作  
留

家元  
天生齋一派









74

74  
10



NO. 52  
S  
△ヨナ